

2025 年 5 月 20 日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

ドキソルビシンを使用した悪性リンパ腫患者における併用薬がもたらす左室駆出率への抑制効果を検討した後方視的研究

### 2. 研究責任者

海南病院 薬剤部 石田 貴啓

### 3. 研究の概要

ドキソルビシン（以下、**DXR**）は乳がんや悪性リンパ腫などに適応を持つ、アントラサイクリン系の抗悪性腫瘍薬です。特徴的な副作用として、心筋障害に伴う左室駆出率（以下、**LVEF**）の低下があり、不可逆的な副作用であるため、生涯における投与量が規定されております。これによって、生涯投与量がドキソルビシンとして **500mg/m<sup>2</sup>** と規定されている薬剤です。昨今の研究において、**DXR** の投与を開始する 1 年前からアトルバスタチン **40mg** を内服することで、**LVEF** の低下を抑制するという研究結果が発表されました。しかしながら、当該研究は **DXR** 投与 1 年前からアトルバスタチンを内服することとなっておりますが、実際は **DXR** 投与の開始時期は判断が困難である場合が多く、**DXR** 投与 1 年前からアトルバスタチンを内服することは困難です。そこで、当院における悪性リンパ腫患者を対象に、**DXR** 投与時にスタチン系抗コレステロール薬を併用していた患者さんにおける投与前と投与後の **LVEF** の変化について後方視的なカルテ調査を実施することとしました。

### 4. 研究方法

#### ① 対象となる患者さん

2021 年 1 月～2024 年 6 月に当院にて **DXR** を使用するレジメンを実施した患者さん。**DXR** を使用するレジメンは、**CHOP 療法**、**DA-EPOCH 療法**、**ABVD 療法**とします。

#### ② 使用する試料等

残余検体：使用なし（追加検査等はいりません）

カルテ情報：外来受診や入院時の採血結果、診断時の検査方法やその結果、

心エコー検査（LVEF 値）、年齢、性別、臨床経過、スタチン系抗コレステロール薬やその他の LVEF の低下率に影響を及ぼす可能性がある薬剤（ $\beta$  ブロッカー、ARB）など併用薬といったカルテ記事記載内容を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますがその際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連海南病院 薬剤部 石田 貴啓  
電話：0567-65-2511（代表）